

評価について
5：適切
4：おおむね適切
3：普通
2：やや不適切
1：改善が必要

1. 教育理念・目的・育成人材像

	点検・評価項目	自己評価
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
1-2	学校における職業教育の特色は何か	4
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
1-4	学校の理念・目的・育成人材・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

- ・教員が美容師として経験のある模範行動を示すことで、在学生に学ぶ姿勢とそして就職後の美容関係での仕事に対する姿勢を学ぶことができる運営を行っている。
- ・美容にかかわる者としての知識と衛生の大切さを授業の中で教授することで、具体的な運営方法を学ぶことができる。

2. 学校運営

2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
2-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか 2-1が有効に機能しているか	4
2-4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
2-5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
2-6	美容業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
2-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
2-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

- ・教職員会議・教務会議・技術交流会を行い、各部署に目的を定めている。
- ・教務と事務の年度方針や財務などの事項について理事会にて報告および意思決定を行っている。

- ・組織において役割分担を決めており目的の達成のため教職員が行動し把握し助言を行っている。

3.教育活動

3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
3-5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
3-6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	5
3-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
3-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
3-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
3-10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
3-11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
3-12	関連分野における業界との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行なわれているか	4
3-13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行なわれているか	4
3-14	教職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

- ・美容技術の基本を教授し学ぶことからインターンシップにおいて接客の応用ができるように教授し、現場のニーズに応えられるカリキュラムを組むことにしている。
- ・成績評価については、毎学期ごとに評価を行い、実技に関しては評価に偏りが出ない様に複数の教員によって評価している。
- ・国家試験である美容師免許の合格を目的として実習、学科対策を二年間通じて教職員で放課後なども使い行っている。

4.教育成果

4-1	就職率の向上が図られているか	4
4-2	資格取得率の向上が選られているか	4
4-3	退学率の低減が図られているか	3
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

- ・教員と就職担当者が主となり、就職フェア開催の案内・引率、就職説明会参加の申し込みの補助、履歴書の書き方、面接指導を行っている。
- ・学生には就職面談を行い、必要であれば保護者との連携を図り就職をすることの意義を促して退学をしない方向へ指導、助言、援助をしている。
- ・慢性的な人手不足の業界であり、卒業生以外からの求人をもらうことも多くなってきているが、卒業生からの求人案内をいただくことは減少していない。来校した時には、美容サロンでの卒業生の近況を聞いて助言なども行っている。学校へ来校しない卒業生も把握できるように考えることが課題である。

5.学生支援

5-1	進路・就職指導に関する支援体制は整備されているか	4
5-2	学生生活における支援体制は整備されているか	4
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
5-7	保護者と適切に連携しているか	4
5-8	卒業生への支援体制はあるか	4
5-9	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
5-10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育職業教育の取組みが行なわれているか	4

- ・相談がある学生は、クラス担当が窓口となり職員会議において情報共有をして解決策を考えて学生に指導している。
指導の中では、アドバイス・改善策を学生に提案して運営を行っている。
- ・学生の経済的支援については、事務局において相談窓口を設けその都度対応している。延納や分割での対応をしている。

- ・健康診断は、保健所と連携をして行っている。
- ・学生の出席や健康面で学年担当、他の職員等が気になった場合に必ず保護者に連絡を取り状況を説明して学校と保護者と連携対応している。
- ・卒業生からの就職相談があった場合など、教職員全員が本人の希望等を確認した後に個別に対応している。

6. 教育環境

6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
6-3	防災に対する体制は整備されているか	5

- ・美容技術を教えるために必要な設備を整えることを考え行動している
- ・インターンシップ期間を実施して就職後のイメージが付くように行っている。
- ・一年に一回、全校で防災訓練を行っている

7. 学生の募集と受け入れ

7-1	学生の募集活動は適正に行われているか	4
7-2	学生の募集活動において、教育成果は適切に伝えられているか	4
7-3	納付金は妥当なものとなっているか	4

- ・美容関係の美容師、アイズーン、ネイル、エステ等の職業理解を美容希望者に高等学校での説明会や学校独自で実施している。
- 学校説明会では、美容学校でのカリキュラムなど入学後の美容業界、就職、将来性について誤解が無いように正しい職業選択ができるように募集活動を行っている
- ・学費納付金に関しては、本校での二年間の学費の説明を勘違いが無いように細かく説明を行い、募集要項にも載せて周知できるよう行っている。

8. 財務

8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	5

- ・予算・収支計画、会計監査、財務状況公開等は、妥当と判断している。

9. 法令等の遵守

9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4

9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行なっているか	4
9-4	自己評価結果を公開しているか	3

- ・関係法令、専修学校設置基準に基づき、適正な学校運営を行っている
- ・個人情報管理に関しては、常に高い意識を持って適正に管理されている

10. 社会貢献、地域貢献

10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

- ・社会、地域貢献については今後の課題とし、考えていきたい
- ・人材不足の美容業界へ、美容サロンなどの方との関わり合いを率先して行い、就職後の即戦力として美容師等を輩出している。

11. 国際交流

11-1	国際交流に取り組んでいるか	2
------	---------------	---

- ・国際交流の必要性は感じているが、現在の状況では研修旅行を中止としているのが現状であり引き続き検討していく

特筆すべき学校の取組

感染症への対応について

今後も感染症の蔓延がないわけではない。したがって、感染拡大防止のため対策継続を行っていきます。

●消毒液の設置、登校時の体調の確認及び体調不良者の把握と指導、除菌機器設置

マスクに関しては、個人の考えのもとに選択をしてもらっている。